



## 浄化槽放流水の敷地内処理装置概要書

設 置 者			
設 置 場 所			
処 理 装 置 の 名 称	PJS 型		
処 理 能 力	処 理 水 量	1	m <sup>3</sup> /日
	処 理 水 質	BOD	20 mg/L
	処 理 面 積	6.72	m <sup>2</sup>
設置場所付近の状況 (処理施設と他の施設等の外周間との距離)	隣 地 境 界	1	m 以上
	建 築 物	1	m 以上
	井 戸	5	m 以上
製 造 者	住 所	宇都宮市上戸祭4-10-36	
	氏 名	日光レジン工業株式会社	
施 工 業 者	住 所		
	氏 名		
浄 化 槽 の 概 要	人 槽 及 び 日 平 均 汚 水 量	5 人槽	1 m <sup>3</sup> /日
	処 理 水 水 質	BOD	20 mg/L

## 維持管理に関する誓約書

私は、 \_\_\_\_\_ に  
設置する「浄化槽放流水の敷地内処理装置」の維持管理を適正におこなうとともに、  
処理装置の維持管理の起因して付近の生活環境保全上支障が生じた場合速やかに  
改善することを誓約いたします。

平成 年 月 日

様

設置者 住所 \_\_\_\_\_  
氏名 \_\_\_\_\_ 印

# 地下水位・土質調査書

## 1. 地下水位の確認(地下水位を確認したレベルにチェックをいれる)・1ヶ所

Check	地下水位	検討条件
	装置下部より 1,000mm以内	ポンプアップ・盛土等を施すことにより施工可能
	装置下部より 1,000mm以深	問題なし

## 2. 土質調査

土質	ユニットタイプ		地下水位	設置条件
	PJ- 型	PJS- 型		
細砂混じりのローム層	○	○	No. 1 設計・設置概要 1. の 項 に 準 拠	処理施設との設置可能範囲の厳守
ローム層	○	○		
シルト混じりのローム層	○	○		
粘土混じりのシルト層	×	×	設置不可	崩落の恐れのある地域 設置不可

地下水位は PJ-5,7型 G.L-2800mm以深とする。PJ-10型 G.L-3000mm以深とする。

地下水位は PJS-5,7型 G.L-2600mm以深とする。PJS-10型 G.L-2800mm以深とする。

装置下部より1,000mm以上確保出来ない場合、ポンプアップ・盛土等の処理を施して装置下部より1,000mm以上を確保できれば施工可能です。

蒸発拡散方式による処理ができる土地

第6 蒸発拡散装置を設置し、放流水を蒸発拡散処理する事が出来る土地の条件

	設置条件	設置現場状況
一	盛土地盤においては、盛土後1年以上経過していること。	
二	地下水位は、地盤面下1.5mより低く、かつ、装置の底面より1m以上低いこと。	
三	土壌が砂質や礫でないこと。	
四	飲用に供する井戸までの水平距離が5m以上であること。	
五	蒸発拡散処理装置の端から周囲の建築物等までの水平距離は次のとおりとする。	/
イ	建築物まで 1m以上	
ロ	隣地境界まで 1m以上	
ハ	擁壁上部まで 1.5m以上	
ニ	擁壁下部まで 1m以上	
ホ	がけの上端まで 1.5m以上 (ただし、傾斜が45度を超えるがけにあっては、がけの下端から45度の線が上部地表面と交わる所まで1.5m以上)	
ヘ	がけの下端まで 1.5m以上	
六	日照、通風が良好であり、かつ、雨水等が流入するおそれのない平坦な場所であること。	
七	車両の通行や定常的な歩行によって踏み固められるおそれのない場所であること。	